

日立IHクッキングヒーター/ガス テーブル用レンジフードファン

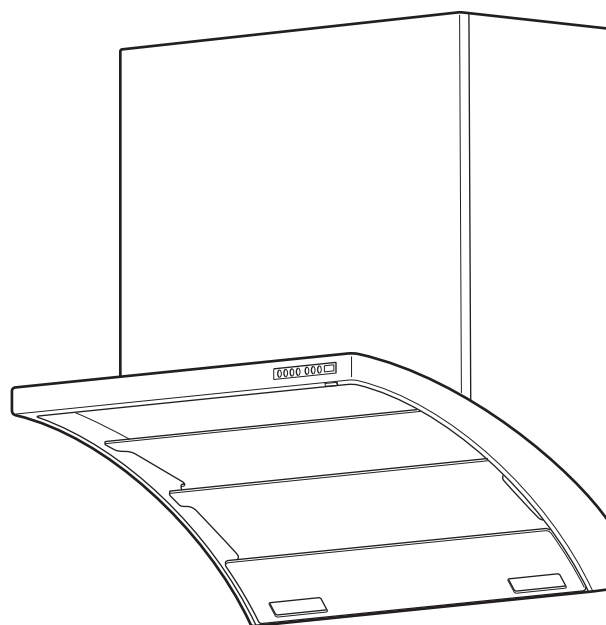
HQ-75SS・HQ-90SS形



このたびは日立レンジフードファンをお
買い上げいただき、まことにありがとう
ございました。

この取扱説明書・据付説明書を
よくお読みになり、正しくご使
用ください。

お読みになったあとは、据付説明書と
ともに大切に保存してください。



もくじ



	ページ
安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
使いかた	4
お手入れのしかた	7
故障かなと思ったら	10
アフターサービス	10
仕様	11

安全上のご注意




ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。











ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

 警告	
 感電の恐れあり <ul style="list-style-type: none"> ● 電球を交換するときは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。または、分電盤のブレーカーを切って行ってください。 	 修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造しない <ul style="list-style-type: none"> ● 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
 お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。また、ぬれた手で抜き差ししない <ul style="list-style-type: none"> ● 感電やけがをすることがあります。 	 水につけたり、水をかけたりしない <ul style="list-style-type: none"> ● ショート・感電の恐れがあります。
 本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない <ul style="list-style-type: none"> ● ショート・感電の原因になります。 	 電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく <ul style="list-style-type: none"> ● 火災の原因になります。
 電球を交換するときは、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。 <ul style="list-style-type: none"> ● 抜かずに作業すると感電することがあります。 	 ガス漏れの恐れがある場合は、換気扇を使用しない <ul style="list-style-type: none"> ● 爆発・引火の恐れがあります。
 交流100V以外では使用しない <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電の原因になります。 	

⚠ 注 意



やけどの恐れあり

- 指定以外の電球を使用しないでください。



けがの恐れあり

- お手入れの際はゴム手袋などをお使いください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

- 感電やショートして発火することがあります。



長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



羽根や部品の取り付けは確実に行う

- 落下によりけがをする恐れがあります。



運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない

- けがの恐れがあります。



お手入れの際は、必ず手袋を着用する

- 板金の端などでけがをする恐れがあります。



本体に異常な振動が発生した場合、使用しない

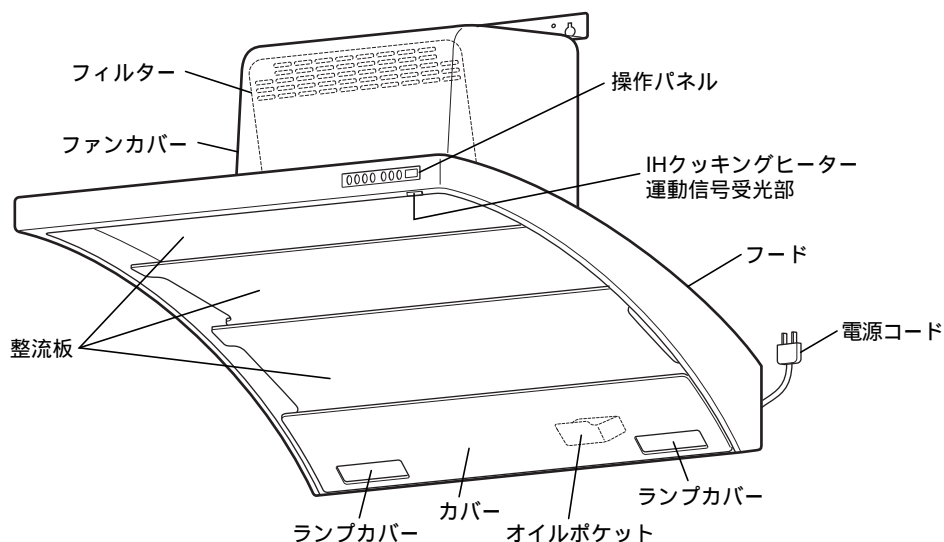
- 本体、部品の落下によりけがをする恐れがあります。



指定以外の電球を使用しない

- ランプ部分が高熱となり、やけどをする恐れがあります。

各部のなまえ



使いかた

⚠ 注意



運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない

- けがの恐れがあります。

ご注意






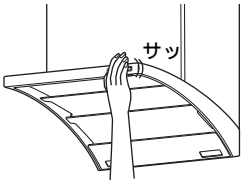





調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。
運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

調理器具の空だきは絶対にしないでください。
製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

調理中は給気を行ってください。
レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します。

湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。
ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。
湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けしないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

使いかた(続き)

 <p>ライト 照明スイッチ</p>	<p>押すごとに、照明が「点灯」「消灯」を繰り返します。</p>
 <p>タイマー 3分後切りタイマー スイッチ</p>	<p>運転中にスイッチを押すと、そのままの風量で約3分間運転した後、自動的に運転を停止します。照明が点灯している場合は、照明も消えます。</p> <div data-bbox="520 723 1424 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>上手な使いかた 通常、調理が終わった後は、スイッチを押してください。3分間のタイマー運転により、調理の後の臭いや羽根についた油汚れなどを落とします。</p> </div>
 <p>センサー 運転 スイッチ</p> <p>センサー</p> 	<p>スイッチを押すと、表示ランプが点灯しセンサーが「受付」の状態になります。</p> <p>センサー「受付」状態のとき、センサー部分に手をかざすと最後に運転を停止したときの風速で運転します。</p> <p>最後に運転を停止したときに照明が点灯していた場合は、照明も点灯します。</p> <p>もう一度センサー部分に手をかざすと運転が停止し、照明も消えます。</p> <p>風速切替は  スイッチを押してください。</p> <p>もう一度スイッチを押すとセンサー運転の表示ランプが消え、センサーによる運転はできなくなります。</p> <div data-bbox="520 1549 1424 1703" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>上手な使いかた レンジフードにさわらないで運転、停止ができるので、手がぬれていたり汚れているときでも簡単に換気ができます。</p> </div>

レンジフード連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合

このレンジフードを専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合、調理器具を使用しますと、自動的にレンジフードは「中」運転を行います。

調理器具をすべて消火したときは、レンジフードは自動的に3分後に運転を停止します。

レンジフードの風量調節および照明の入/切などの操作を調理器具前面の操作パネルでも行えます。(詳細については調理器具の取扱説明書をご覧ください。)

専用調理器具については当社までお問い合わせください。

お手入れのしかた

⚠ 警告



お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。また、ぬれた手で抜き差ししない

- 感電やけがをすることがあります。



本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない

- ショート・感電の恐れがあります。



水につけたり、水をかけたりしない

- ショート・感電の恐れがあります。

⚠ 注意



お手入れの際は、必ず手袋を着用する

- 板金の端などでけがをすることがあります。



羽根や部品の取り付けは確実にを行う

- 落下によりけがをすることがあります。

ご注意

- 突起や角でけがをしないように静かにふいてください。
- シンナー、灯油、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使用しないでください。変質・変色の恐れがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

1. ランプ交換のしかた

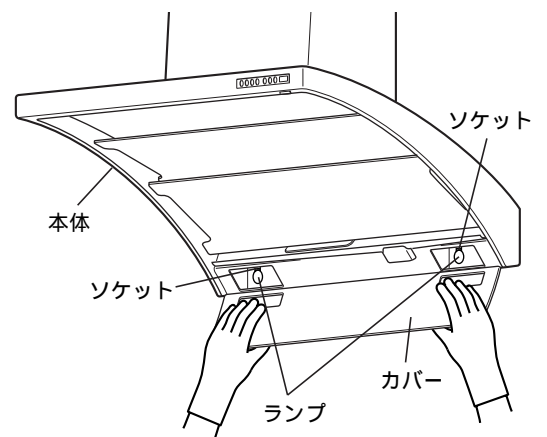
ご使用中のランプが切れた場合には、口金E-17,S形ミニ電球(定格100V 40W形)とご指定のうえ、電気店などで購入し、交換してください。

ご注意

ランプ交換の際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。突然の点灯で、やけどや感電の恐れがあります。

ランプの交換方法

- (1) 本体のカバー両端を両手で持って、手前に開けます。
- (2) 切れたランプを取り外し、ソケットに新しいランプを確実に固定します。
- (3) カバーの両端を両手で持って本体に取り付けます。



お手入れのしかた(続き)

2. 分解・組み立てのしかた

⚠ 注意



羽根や部品の取り付けは確実に行う

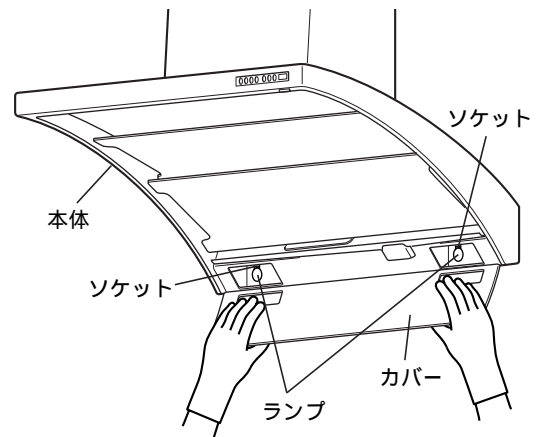
• 落下によりけがをする恐れがあります。

・ 分解のしかた ((1)~(6)の手順で分解します。)

ご注意

分解しお手入れする際は、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。

突然の運転でけがをする恐れがあります。

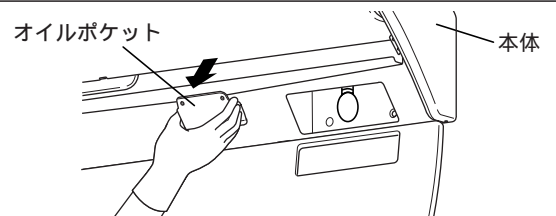


(1) カバーの着脱

本体のカバー両端を両手で持って、手前に引き外します。

(2) オイルポケットの着脱

オイルポケットを手で持って、手前に引き外します。

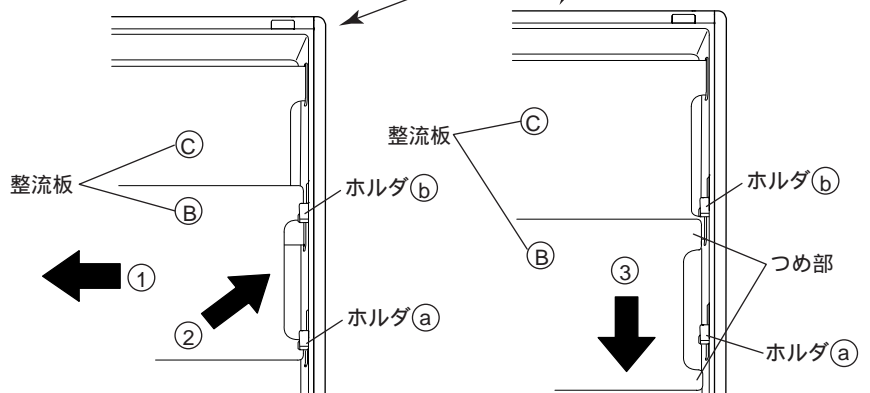
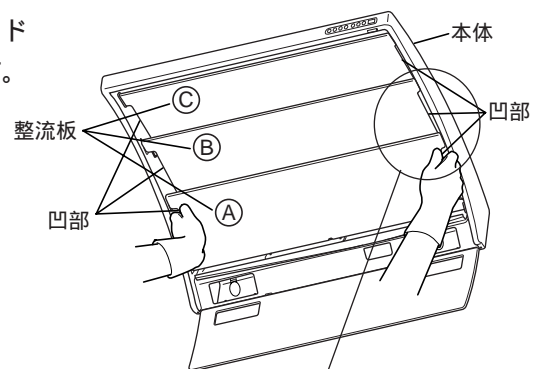


(3) 整流板の着脱

整流板の両端凹部を両手で持ち、左右どちらかにスライドさせ、引き外してください。A、B、Cの順に外します。

ただし、Bの整流板については下記の手順で脱着してください。

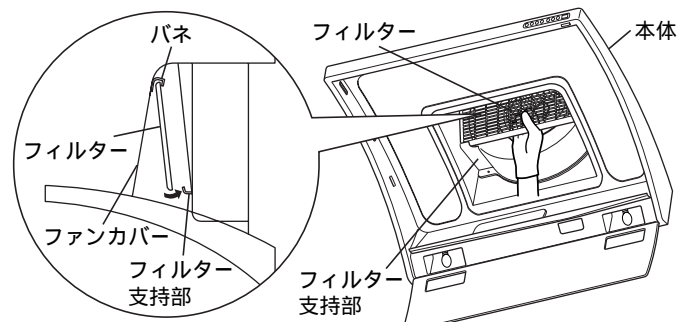
- ① 左右どちらかにスライドさせます。
- ② ホルダ (b) から整流板を外し、本体側へ押し込みます。
- ③ ホルダ (a)、(b) に整流板のつめ部が重ならないように下方へずらし、手前に引き外します。



お手入れのしかた(続き)

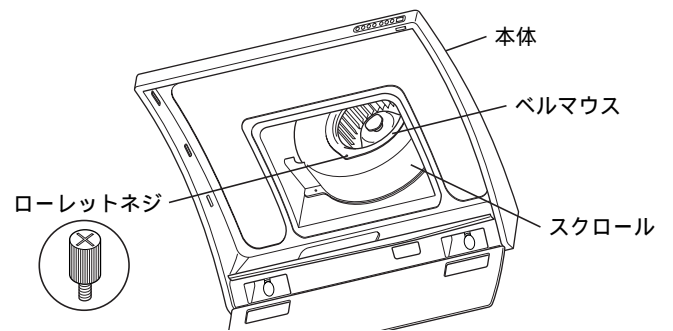
(4) フィルターの着脱

フィルター下部を手で持ち、一度上に持ち上げ、フィルター支持部より外して、フィルターを手前に外してください。フィルターはパネに押し当てながら、フィルター支持部に取り付けてください。



(5) ベルマウスの着脱

ベルマウスのローレットネジ(3ヶ所)をゆるめて取り外します。

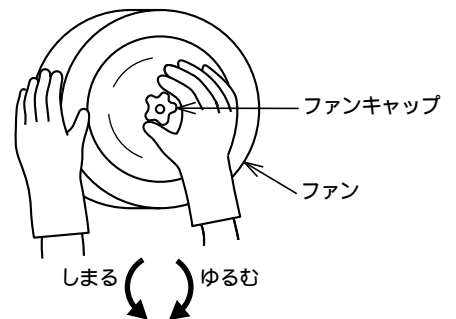


(6) ファンの着脱

ファンを押さえ、ファンキャップを時計方向に回して外した後、ファンを手前に引き、モーター軸から外します。

ご注意

ファンをぶついたり、落としたり変形させないでください。



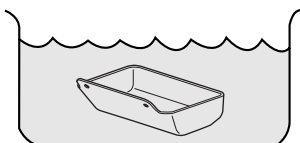
・組み立てかた

分解と逆の手順(6~1順番)で組み立てます。

3. お手入れのしかた

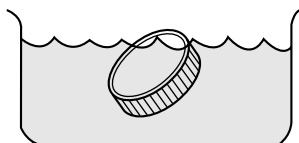
オイルポケット

油分がたまりましたら、本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



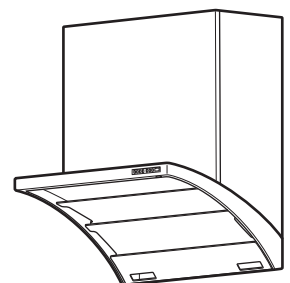
ファン、整流板、ベルマウス

本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



本体

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないよう、清水を湿らせた布で洗剤をよくふき取ってください。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください。

症 状	点検するところ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
操作パネルが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体のスイッチが「ロック」状態になっていませんか。
振動・騒音が大きくなった	<ul style="list-style-type: none"> ●ファン固定用ファンキャップがゆるんでいませんか。 ●ファンの汚れが多くなっていませんか。

① スイッチを「ピッ」と音がするまで約3秒間押し続けると「ロック」状態が解除されます。

アフターサービス(必ずお読みください)

補修用性能部品の保有期間

換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」(☎11)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

9ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

出張修理

ご連絡していただきたい内容

品 名	レンジ用フードファン
形 名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
	+
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
	+
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

長年ご使用の換気扇の点検を



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービス(続き)

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日 / 9:00 ~ 19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00 ~ 17:30 / 携帯電話、PHSからもご利用
できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の
休日は休ませていただきます。

仕様

形名	HQ-75SS	HQ-90SS
電源	100V 50/60Hz共用	
消費電力(W)	強	95/95
	中	70/70
	弱	50/50
風量 (m ³ /h)	強	610/610
	中	350/350
	弱	200/200
質量 (kg)	20.5	23.0

お客様メモ

後日のために記入しておいでください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話 () -

ご購入年月日

平成

年

月

日

 **日立 ホーム&ライフソリューション株式会社**

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

電話(03)3502-2111